



ブックマ



『ルビィのぼうけん~こんにちは!プログラミング』



リンダ・リウカス 作 2016年初版 翔泳社 貸し出し可(0の善冊)



本牧南小学校にはグローブエクス社よりロボットが2体遊びに来てくれていますね。愛らしい自分で私たちを見つめてくれる「チョコ」と「ミルク」とふれあっていると、時間がたつのを忘れてしまうほどです。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、いろいろな制約が多く、学校生活でも伸び伸びと遊んだり活動したりできないことも多かったと思います。

でも、そんなときだからこそ、最先端のAIを搭載したロボットとの心あたまるふれあいの時間は、本当に貴重な時間でした。感謝です!!

多くの人が入り出る交流の場でもあり、学びの場でもある学校図書館に、もし「チョコ」と「ミルク」のようなロボットがいたら、どうなるかな...と、いろいろなことを想像しわくわくした毎日でした。

みなさんは、これからAI(人工知能)との共存の世界はあたりまえという時代に生きることになります。そこで、一番大事なのは人の心と命ですが、「物」を作る責任や、「物」を活用する責任も問われることになります。

さあ、その第一歩として、機械に命令をあたえて思い通りに動かす「プログラミング」とはなにかということが、すごくよくわかるのが、この本です。

たとえば、友達や家族同士なら、「あれやっておいて」とか「なんとなくそんな雰囲気だよな」なんて言った言葉が、通じるかもしれません。でも、「プログラミング」の世界はちょっと違います。

主人公のルビィは、はっきりしない命令を言われると困ってしまいます。例えば朝、「これから学校へいくのに、洋服を着なさい」と言われたなら、ルビィはパジャマの上に洋服を着てしまいます。きちんと、「パジャマを脱いでから、洋服に着がえなさい」と言わないと、行動ができません。

プログラミングの世界も同じです。でも、これって、人間の世界でもよく似たようなことがありますよね。

これは、人を大切にすること、物を大切にすることが、「プログラミング」から学べる絵本です。

